

文化的景観とは

文化的景観とは以下のように定義されています。

地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地でわが国民の生活又は生業の理解のために欠くことのできないもの
(文化財保護法第二条第1項五号より)

文化的景観は、日々の生活に根ざした身近な景観であるため、日頃その価値にはなかなか気づきにくいものです。

熊本県内では、次の3地域が文化的景観に指定されています。

- ・通潤用水と白糸大地の棚田景観
- ・天草市崎津・今富の文化的景観
- ・三角西港の文化的景観

世界遺産とは

地球の生成と人類の歴史によって生み出され、過去から現在へと引き継がれてきたかけがえのない宝物です。現在を生きる世界中の人びとが過去から引継ぎ、未来へと伝えていかなければならない人類共通の遺産です。

世界遺産には以下のような4つの種類があります。

- ①文化遺産・・・人間の営みにより遺された遺産
- ②自然遺産・・・自然の営みにより遺された遺産
- ③複合遺産・・・文化と自然の両方を兼ね備えた遺産
- ④危機遺産・・・戦争などを要因として価値を損なう恐れのある遺産

日本国内には文化遺産が15件、自然遺産が4件あります。

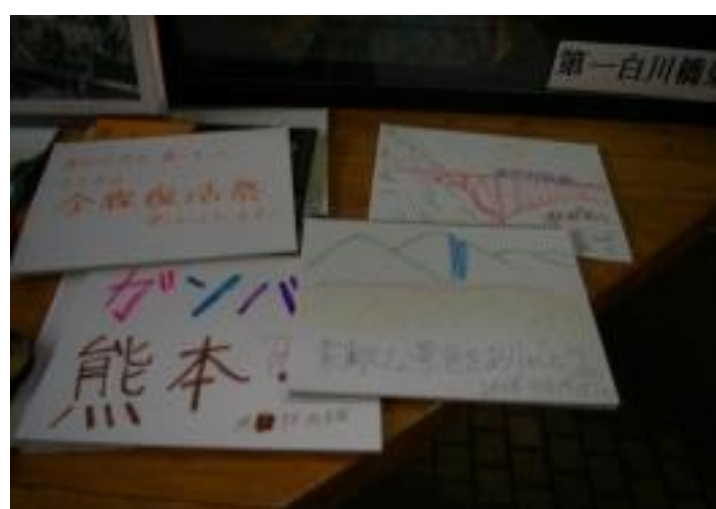
南阿蘇鉄道復興支援・阿蘇ジオパーク推進協議会助成研究

南阿蘇鉄道は、高森町・南阿蘇村を走る第3セクター鉄道です。平成28年4月の熊本地震で被害を受け、全線運休になりました。地震から3か月後の7月から高森ー中松間（5区間）は再開されましたが、現在も総延長17.7kmのうち、中松ー立野間10.7kmは運休中です。

私たちの研究室では、南阿蘇鉄道の全線復旧を応援するために、地域の方々と一緒にイベントや、研究活動を行っています。

【H28 7/31 南阿蘇鉄道復活祭】

部分運行再開に合わせて開催されたイベントの中で、高森駅では資料展・メッセージ写真展、中松駅では、列車おでむかえを行いました。



【H28 11/22,24,H29 3/22 三陸鉄道】

東日本大震災の被害から全線復旧を果たした三陸鉄道の復興についてお話を伺いました。



阿蘇の取り組み

◆阿蘇ジオパーク

ジオパークとは、「地球・大地」という意味のジオと、「公園」という意味のパークを合わせた言葉で、「大地の公園」と訳されます。豊かな自然と触れ合えるだけでなく、風土ならではの祭事や地元の暮らしといった“そこに住む人々の文化”も感じ取ることができます。

阿蘇ジオパークでは、「阿蘇火山の大地と人間生活」がテーマであり、「カルデラをつくりあげた巨大噴火の歴史」や、現在も噴煙を上げる「活火山・中岳とその周辺の特別な景観」などの、大地の成り立ちの物語を持っています。

◆世界文化遺産

阿蘇は、活発な火山活動により形成された広大なカルデラの中に、7万人の人々の暮らしが営まれている、世界で類をみない地域であり、世界文化遺産の登録を目指しています。

世界遺産に登録されると、名実ともに「世界の阿蘇」として高く評価されるとともに、文化財を始めとする地域の宝の保護が進み、環境保全や地域活性化にもつながっていくものと期待されています。

◆文化的景観

世界最大規模のカルデラの外輪山周辺の草地は「野焼き」及び「輪地切り」などに関する伝統的な「採草火入れ放牧」という有史以来の人々の生業の営みによって育まれてきた独特の草地景観として貴重であることから、文化的景観への選定、6月に答申されました。

【参考】

文化的景観とは - 文化庁
阿蘇を世界文化遺産に - 阿蘇世界文化遺産推進室
『阿蘇・火山との共生とその文化的景観 - 』/熊本県
世界遺産の登録を目指して - 阿蘇市ホームページ

<http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/keikan/>
<http://www.asosekaibunkaisan.com/>
http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_2081.html
http://www.city.aso.kumamoto.jp/municipal/business_policy/world-heritage/

【H29 2/20 研究報告会・南鉄応援団結成】

南阿蘇鉄道職員、自治体、地域の方々、おれんじ鉄道など、多くの方々に集まっていただき、高森町のレストラン「Water Forest」にて研究報告会を行いました。多様な主体が連携しあえる「南鉄応援団」を結成しました。



【H29 4/15 南阿蘇鉄道復活祭ー4thSTAGEー】

熊本地震から1年が経過した日に合わせて南阿蘇鉄道復活祭が開催されました。私たちの研究室は、南阿蘇白川水源駅会場で列車お出迎え、白川水源ぐるり旅、メッセージ写真展を行いました。

南阿蘇鉄道復旧支援部会、阿蘇ジオパーク、おれんじ鉄道、九州大学などの方々と連携しながら、企画・運営を行いました。

これからも復興応援イベントを開催していく予定です。地域の人々と一緒に“これからの南阿蘇鉄道”について考えていきたいです。

